

新しくなった「キリンビール 晴れ風」、販売数量前年比約 150%^{※1}と好調 「飲みごたえ」と「飲みやすさ」に磨きをかけた、新しい味わいが好評

キリンビール株式会社（社長 堀口英樹）が1月製造品から中味・パッケージともにリニューアル^{※2}した「キリンビール 晴れ風（以下、晴れ風）」が、多くのお客様から好評をいただいています。リニューアルのコミュニケーションを開始した3月23日（月）から3週間の販売数量は、前年比約150%と好調に推移しているほか、2024年の発売から現時点までの累計販売本数は、4.2億本^{※3}を突破しました。

※1 リニューアルコミュニケーション開始日から3週間（2026年3月23日～4月12日）における当社出荷実績

※2 次世代ビールサーバー「TAPPY（タッピー）」の3Lペットボトルは中味のみのリニューアル

※3 350ml換算 2026年4月20日（月）時点

「キリン 一番搾り生ビール」に次ぐ定番ブランドとして2024年4月に発売した「晴れ風」は、発売以来多くのお客様から高い評価をいただけてきました。2026年10月に酒税改正を控え、ビール市場は大きな変化の機会を迎えます。変化が激しい環境でも常においしさを進化させ、お客様から愛され続ける定番ブランドになることを目指し、今春、「晴れ風」はブランド初のフルリニューアルを行いました。

これからも「晴れ風」を通じてビールカテゴリーに新しい風を吹かせ、さらなる市場の魅力化・活性化を推進していきます。

■「晴れ風」好調要因

①「飲みごたえ」と「飲みやすさ」にさらに磨きをかけた、新しい味わいが好評

仕込み・発酵工程の条件を見直したほか、国産ホップ「IBUKI」に加えて新たに清涼感のあるホップを採用し、これまで評価されていた「飲みごたえ」と「飲みやすさ」が両立した味わいに、さらに磨きをかけました。「すっきりした飲み口」と「ぐっと締まる後味」へ進化した、新しい味わいが特長です。

リニューアル後の商品は、以下のコンペティションでの受賞をはじめ、高い評価をいただいています。

・「ジャパン・グレートビア・アワーズ 2026」銅賞受賞

②今の時代に合った、パッケージ・多方面のコミュニケーション・「晴れ風 ACTION」への共感

新しいパッケージやリニューアル前から先行して展開してきた多方面のコミュニケーション、ならびに、桜や花火といった「日本の風物詩」を未来につなげていく活動である「晴れ風 ACTION」を通じて、「今の時代に合っている」という共感をいただいています。こうした取り組みが、普段あまりビールを飲まない方を含め、「晴れ風」を手にとっていただくきっかけとなっています。



記

- 商品名 「キリンビール 晴れ風」
- 発売日 2026年1月製造品より順次切り替え
- 発売地域 全国
- 容量／容器 ①350ml・500ml 缶、②500ml 中びん、③3L ペットボトル
- 価格 オープン価格
- アルコール分 5%
- 純アルコール量 ①350ml 缶：14g 500ml 缶：20g
②500ml 中びん：20g
- 製造工場 ①キリンビール 仙台工場、取手工場、横浜工場、名古屋工場、滋賀工場、岡山工場、福岡工場
②キリンビール 取手工場、名古屋工場、岡山工場、福岡工場
③キリンビール 取手工場、横浜工場

以上

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 キリンビールお客様相談室（フリーダイヤル）0120-111-560

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>